

バーチャルでもリアルでも楽しめる 本格農業体験ゲームで遊ぼう!

Photo 岡本淑 Text 平川友紀

ゲームを通して農業や地方に興味を持つ

畑っぴ

- ゲームで野菜を育てる**
全国から自分の好きな農地を選択。アイテムを使って畑の手入れをし、遊びながら農業を学ぶ。
- 作物の情報**
生産者のプロフィールや各地の特産物、その作物の栄養価や食べたときの効用などがわかる。
- 農家直販情報**
一度気に入った野菜があれば、その農家から直接購入もできる。生産者と消費者のコミュニケーションの場にも。
- その地域の特徴・イベント紹介**
その地方で有名な景色や植物、祭りなどのイベントもゲーム上で再現。地域のブランディングも行える。

ユーザー

全国の契約農家

自分が選んだ生産地で育った野菜が届く!

携帯ゲームで野菜を育てると、本物の野菜が自宅に届く——話題の農場コミュニケーションゲーム「畑っぴ」。単なるおまけ付きゲームとあなどるなかれ。「畑っぴ」には、ゲームの枠を超えて、農を取り巻く社会全体が元気になる、楽しい仕掛けが用意されているのです。

「畑」

「畑っぴ」は2010年6月にドコモの公式ゲームとしてスタートし、2011年4月にはauに、現在はソフトバンク、各種スマートフォンでもサービスを開始しています。会員数は現在約3万人。実際の農業の工程をそのまま再現し、ゲームで農作物が収穫できると、同じ農作物が実際に届く仕組みです。「野菜がどんなふうにならされているのか知ってもらったり、美味しいものを食べてもらうきっかけを作りたい」と株式会社エルディの会長、宮崎尚登さん。その思いが「畑っぴ」独自の相互交流システムを誕生させました。

「農家さんの思いや大変さは、その農家さんの顔や農作業の過程が見えなければ、消費者には伝わりません。そこでゲームの利用料をいただくかわりに、野菜そのものは無償でお送りして、食べてもらうきっかけを作ったらいかがかと思っただけです」

ユーザーはゲームが楽しめるうえに本物の野菜をもらうことができます。そして農家さんは、収入が得られるのはもちろんのこと、ユーザーからお礼の手紙やメールが届くので、そのこと

をとっても喜んでいるのだそうです。

「野菜を作る大変さを知って、子供が野菜を残さなくなりました」「中国産の野菜を買っていたけれど、国内産の野菜を買うようになりました」など、嬉しい反響も少しずつ増えてきています。

「農家から直送するので新鮮ですし、バーチャルでの経験がリアルとして届くので、美味しく感じていただけると嬉しいです。僕は、そこに至るまでのストーリーを売っているんですね」

今後は農家さんに会ってみたい、地方に行ってみたいと思ってもらえるような、よりリアルに直結するストーリーを作っていきたいとのこと。7月下旬には実在する地方の町を舞台に野菜を育てる地域振興版がスタート予定。ゲーム上でその町の名所やイベントを紹介したり、町で利用できるクーポンを用意したりとさらに充実した内容で、都市と地方、生産者と消費者をつなげます。

農家見学や収穫体験、苗オーナー制度や地域活性化プランなど、次から次へとデジタルとリアルをつなぐアイデアをお話ししてくださった宮崎さん。畑っぴネットワークは、これからますます広がっていきそうです。



畑っぴへのアクセスはこちらのQRコードから

問い合わせ 株式会社エルディ
info@ld-inc.jp
hatakeppi.com